

# BIOS セットアップ (Intel® W790 Series)

BIOS セットアップ .....	2
起動画面 .....	3
メインメニュー .....	4
M.I.T. ....	5
System (システム).....	7
Peripherals (周辺機器).....	8
Platform Configuration .....	11
Socket Configuration.....	13
BIOS .....	14
Power (電力管理).....	16
Save & Exit (保存して終了).....	17



BIOS の設定の中には、マザーボードのチップセットと使用する CPU / メモリがその機能をサポートしている場合のみ利用できるものがあります。Intel® CPU の固有機能の詳細については、Intel® の Web サイトにアクセスしてください。



オーバークロック設定による安定動作については、システム全体の設定によって異なります。オーバークロック設定を間違えて設定して動作させると CPU、チップセット、またはメモリが損傷し、これらのコンポーネントの耐久年数が短くなる原因となります。このページは上級ユーザー向けであり、システムの不安定や予期せぬ結果を招く場合があるため、既定値設定を変更しないことをお勧めします。(誤った BIOS 設定をしますと、システムは起動できません。そのような場合は、CMOS 値を消去して既定値にリセットしてみてください。)

## BIOS セットアップ

BIOS (Basic Input and Output System) は、マザーボード上の CMOS にあるシステムのハードウェアのパラメータを記録します。主な機能には、システム起動、システムパラメータの保存、およびオペレーティングシステムの読み込みなどを行うパワー オンセルフ テスト (POST) の実行などがあります。BIOS には、ユーザーが基本システム構成設定の変更または特定のシステム機能の有効化を可能にする BIOS セットアッププログラムが含まれています。

電源をオフにすると、CMOS の設定値を維持するためマザーボードのバッテリーが CMOS に必要な電力を供給します。

BIOS セットアッププログラムにアクセスするには、電源オン時の POST 中に <Delete> キーを押します。

BIOS をアップグレードするには、GIGABYTE Q-Flash または Q-Flash Plus ユーティリティのいずれかを使用します。

- Q-Flash により、ユーザーはオペレーティング システムに入ることなく BIOS のアップグレードまたはバックアップを素早く簡単に行えます。
- Q-Flash Plus では、システムの電源が切れているとき (S5シャットダウン状態) に BIOS を更新することができます。最新の BIOS を USB メモリに保存して専用ポートに接続すると、Q-Flash Plus ボタンを押すだけで自動的に BIOS を更新できます。

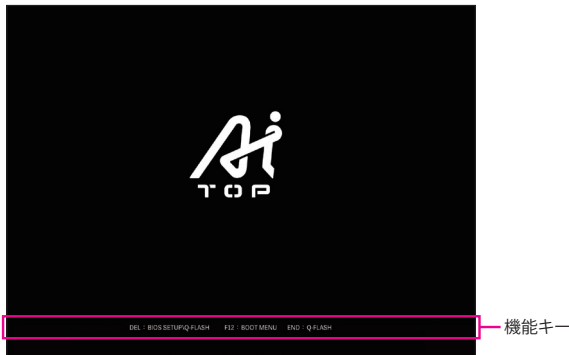
Q-Flash および Q-Flash Plus ユーティリティの使用に関する使用説明については、GIGABYTE のウェブサイトの「独自機能」ページに移動し、「BIOS Update Utilities」を検索してご参照ください。



- BIOS の更新は潜在的に危険を伴うため、BIOS の現在のバージョンを使用しているときに問題が発生していない場合、BIOS を更新しないことをお勧めします。BIOS の更新は注意して行ってください。BIOS の不適切な更新は、システムの誤動作の原因となります。
- システムの不安定またはその他の予期しない結果を防ぐために、初期設定を変更しないことをお勧めします (必要な場合を除く)。誤った BIOS 設定しすると、システムは起動できません。そのようなことが発生した場合は、CMOS 値を既定値にリセットしてみてください。
- CMOS 値を既定値にリセットする方法は、取扱説明書のバッテリー / クリア CMOS ジャンパー / ボタンの項目を参照するか、本書の「Load Optimized Defaults」項目を参照してください。

## 起動画面

コンピュータが起動するとき、次の起動ロゴ画面が表示されます。(画面はマザーボードによって異なる場合があります。)



### 機能キー：

#### <DEL>: BIOS SETUP/Q-FLASH

<Delete>キーを押してBIOSセットアップに入り、BIOSセットアップでQ-Flashユーティリティにアクセスします。

#### <F12>: BOOT MENU

起動メニューにより、BIOS セットアップに入ることなく第 1 起動デバイスを設定できます。起動メニューで、上矢印キー <↑> または下矢印キー <↓> を用いて第 1 起動デバイスを選択し、次に <Enter> キーを押して確定します。システムはそのデバイスから起動します。

注：起動メニューの設定は 1 回のみ有効です。システム再起動後のデバイスの起動順序は BIOS セットアップの設定の順序となります。

#### <END>: Q-FLASH

<End> キーを押すと、先に BIOS セットアップに入る必要なく直接 Q-Flash Utility にアクセスします。

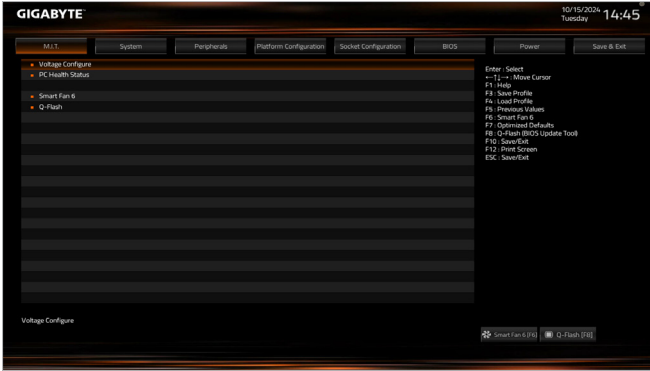
# メインメニュー

キーボードの矢印キーを押すことにより設定項目を切り替えることができ、<Enter>を押すことでサブメニューに入ります。また、マウスを使用して項目に選択することもできます。



## 機能キー

<Enter>/Double Click	コマンドを実行するかまたはメニューに入ります。
<←><→><↑><↓>	選択バーを移動させてメニュー上の設定項目を選択します。
<F1>	ファンクションキーについての説明を表示します。
<F3>	現在のBIOS設定をプロファイルに保存する。
<F4>	以前に作成したプロファイルからBIOS設定をロードします。
<F5>	現在のメニュー用に前の BIOS 設定を復元します。
<F6>	Smart Fan 6の画面を表示する。
<F7>	現在のメニュー用に最適化された BIOS の初期設定を読み込みます。
<F8>	Q-Flash Utility にアクセスします。
<F10>	すべての変更を保存し、BIOS セットアッププログラムを終了します。
<F12>	現在の画面を画像としてキャプチャし、USB ドライブに保存します。
<Esc>	メインメニュー: BIOS セットアッププログラムを終了します。 サブメニュー: 現在のサブメニューを終了します。



■ **Voltage Configure**

このサブメニューにより、CPU、チップセット、およびメモリ電圧の設定が可能になります。使用する CPU によって、結果は異なる場合があります。

■ **PC Health Status**

現在のシステム電圧を表示します。使用する CPU によって、結果は異なる場合があります。

■ **Smart Fan 6**

ファンクションキー<F6>を使用して、この画面にすばやく切り替えます。この画面では、各ファンヘッドのファン速度関連の設定や、システム/CPUの温度監視を行うことができます。

☞ **TUNE ALL**

現在の設定をすべてのファンヘッドに適用します。

☞ **Temperature**

選択された領域の、現在の温度を表示します。

☞ **Fan Speed**

現在のファン/ポンプ速度を表示します。

☞ **Flow Rate**

水冷システムの流量を表示します。**Fan Speed** 項目で<Enter>キーを押すと、この機能に切り替わります。

☞ **Fan Speed Control**

ファン速度コントロール機能を有効にして、ファン速度を調整します。

- ▶▶ Normal CPU温度に従って異なる速度でファンを動作させることができます。
- ▶▶ Silent ファンを低速で作動します。
- ▶▶ Manual グラフ上の基準点をドラッグしてファンの回転数を調整することができます。または **EZ Tuning** 機能を使用することもできます。基準点の位置を調整した後、**Apply** を押すと、自動的にカーブの傾きが計算されます。
- ▶▶ Full Speed ファンを全速で作動します。

☞ **Fan Control Use Temperature Input**

ファン速度コントロール用の基準温度を選択できます。

☞ **Temperature Interval**

ファン速度変動用の温度間隔を選択できます。

☞ **FAN/PUMP Control Mode**

- ▶ Auto            BIOSは、取り付けられたファンのタイプを自動的に検出し、最適の制御モードを設定します。
- ▶ Voltage        電圧モードは、3ピンのファン/水冷ポンプ用ファンです。
- ▶ PWM            PWMモードは、4ピンのファン/水冷ポンプ用ファンです。

☞ **FAN/PUMP Stop**

Fan/Pump Stop 機能を有効または無効設定することができます。温度曲線を使用して温度制限を設定できます。ファンまたはポンプは、温度が限界値より低いと動作を停止します。

☞ **FAN/PUMP Mode**

ファンの動作モードを設定します。

- ▶ Slope            温度に応じてファンの回転数をリニアに調整します。
- ▶ Stair            温度に応じてファンの回転数を段階的に調整します。

☞ **FAN/PUMP Fail Warning**

ファン/水冷ポンプ用ファンが接続されている状態で異常が発生した場合、システムは警告を知らせます。警告があった場合、ファン/水冷ポンプ用ファンの接続状態を確認してください。

☞ **Load Fan Profile**

この機能を使用すると、BIOS設定を再設定する手間をかけずに、以前に保存したBIOS上のプロファイルを読み込むことができます。または、**Select File in HDD/FDD/USB** を選択して、ストレージデバイスからプロファイルを読み込むことができます。

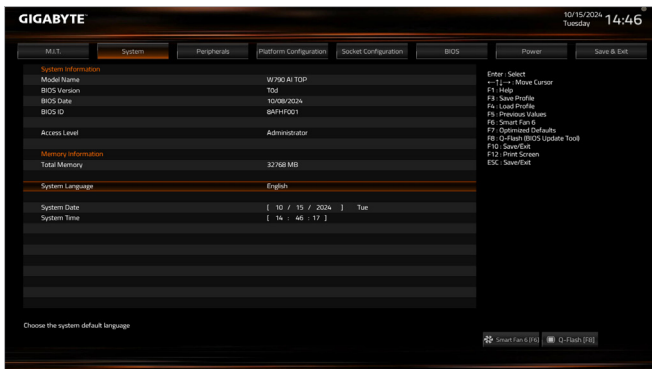
☞ **Save Fan Profile**

この機能により、現在の設定をプロファイルに保存できるようになります。BIOS 上のプロファイルを保存するか、**Select File in HDD/FDD/USB** を選択して、ストレージデバイスにプロファイルを保存することができます。

■ **Q-Flash**

Q-Flash ユーティリティにアクセスしてBIOS を更新したり、現在のBIOS設定をバックアップしたりできます。

## System (システム)



このセクションでは、マザーボード モデルおよび BIOS バージョンの情報を表示します。また、BIOS が使用する既定の言語を選択して手動でシステム時計を設定することもできます。

### Access Level

使用するパスワード保護のタイプによって現在のアクセス レベルを表示します。(パスワードが設定されていない場合、既定では **Administrator (管理者)** として表示されます。)管理者レベルでは、すべての BIOS 設定を変更することが可能です。ユーザー レベルでは、すべてではなく特定の BIOS 設定のみが変更できます。

### System Language

BIOS が使用する既定の言語を選択します。

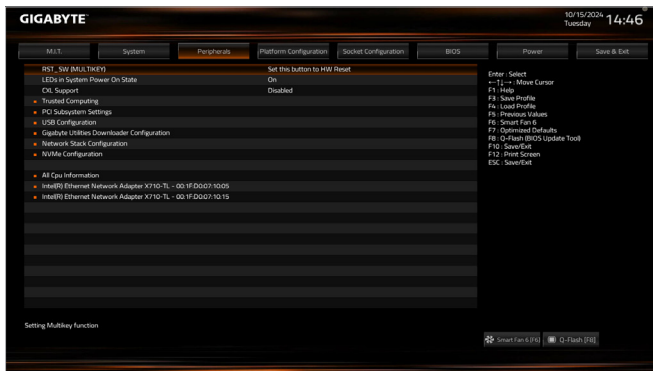
### System Date

システムの日付を設定します。<Enter> で Month (月)、Date (日)、および Year (年) フィールドを切り替え、<Page Up> キーと <Page Down> キーで設定します。

### System Time

システムの時間を設定します。時間の形式は時、分、および秒です。例えば、1 p.m. は 13:00:00 です。<Enter> で Hour (時間)、Minute (分)、および Second (秒) フィールドを切り替え、<Page Up> キーと <Page Down> キーで設定します。

## Peripherals (周辺機器)



### ⌘ RST\_SW (MULTIKEY) (RST\_SW ボタンの機能)

- ▶▶ Set this button to HW Reset      このボタンを使用して、システムをリセットします。
- ▶▶ Set this button to Switch LED On/Off      このボタンを使用して、マザーボードのLEDをオン/オフします。
- ▶▶ Set this button to Enter BIOS Setup      このボタンを使ってBIOSセットアップに入ります。

### ⌘ LEDs in System Power On State

システムの電源が入っているときに、マザーボードのLED照明を有効または無効にすることができます。

- ▶▶ Off      システムがオンのときに、選択した照明モードを無効にします。
- ▶▶ On      オンシステムがオンのときに、選択した照明モードを有効にします。

### ⌘ CXL Support

CXL (Compute Express Link) サポートを有効または無効にします。

### ■ Trusted Computing

Trusted Platform Module (TPM) を有効または無効にします。

### ■ PCI Subsystem Settings

PCI、PCI-X、または PCI Express 設定を構成できます。

### ⌘ Above 4G Decoding

64 ビット対応のデバイスは、4 GB 以上のアドレス空間でデコードすることができます。(お使いのシステムが 64 ビット PCI デコードをサポートしている場合のみ)。Enabled (有効) 設定にした場合、複数の高度なグラフィックスカードが使用されている場合、オペレーティングシステムを読み込み中に起動することができない場合があります (4 GB制限の仕様のため)。

### ⌘ Re-Size BAR Support

Resizable BAR のサポートを有効または無効にします。

### ⌘ SR-IOV Support

SR-IOV をサポートする PCIe デバイスがインストールされている場合に、シングルルート IO 仮想化 (SR-IOV) 機能を有効にするかどうかを決定できます。



## ■ USB Configuration

### ☞ Legacy USB Support

USB キーボード/マウスを MS-DOS で使用できるようにします。

### ☞ XHCI Hand-off

XHCIハンドオフに対応していないOSでも、XHCIハンドオフ機能を有効/無効に設定できません。

### ☞ USB Mass Storage Driver Support

USBストレージデバイスの有効/無効を切り替えます。

### ☞ Mass Storage Devices

接続された USB 大容量デバイスのリストを表示します。この項目は、USBストレージデバイスが接続された場合のみ表示されます。

### ☞ USB transfer time-out

USB 転送タイムアウト値を設定できます。

### ☞ Device reset time-out

USB 大容量ストレージ・デバイスの [ユニットの開始] コマンドのタイムアウトを設定できます。

### ☞ Device power-up delay

デバイスがホスト・コントローラーに適切にレポートするまでにかかる遅延時間を設定できます。

## ■ Gigabyte Utilities Downloader Configuration

### ☞ Gigabyte Utilities Downloader Configuration

OSに入ってから自動的にGIGABYTE APP Centerをダウンロードして、インストールするかどうかを判断することができます。インストールの前に、システムがインターネットに接続されていることを確認してください。

## ■ Network Stack Configuration

### ☞ Network Stack

Windows Deployment ServicesサーバーのOSのインストールなど、GPT形式のOSをインストールするためのネットワーク起動の有効/無効を切り替えます。

### ☞ IPv4 PXE Support

IPv4PXEサポートの有効/無効を切り替えます。**Network Stack** が有効になっている場合のみ、この項目を構成できます。

### ☞ IPv4 HTTP Support

IPv4のHTTPブートサポートを有効または無効に設定します。**Network Stack** が有効になっている場合のみ、この項目を構成できます。

### ☞ IPv6 PXE Support

IPv6PXEサポートの有効/無効を切り替えます。**Network Stack** が有効になっている場合のみ、この項目を構成できます。

### ☞ IPv6 HTTP Support

IPv6のHTTPブートサポートを有効または無効に設定します。**Network Stack** が有効になっている場合のみ、この項目を構成できます。

### ☞ PXE boot wait time

PXEブートをキャンセルするための、<Esc>キー入力待ち時間を設定できます。**Network Stack** が有効になっている場合のみ、この項目を構成できます。

↳ **Media detect count**

外部メディアの存在を確認する回数を設定できます。**Network Stack** が有効になっている場合のみ、この項目を構成できます。

■ **NVMe Configuration**

取り付けられている場合、M.2 NVME PCIe SSD に関する情報を表示します。

■ **All Cpu Information**

搭載されている CPU の情報を表示します。

■ **Intel(R) Ethernet Network Adapter**

このサブメニューは、LAN 構成と関連する構成オプションの情報を提供します。

# Platform Configuration



## ■ PCH-IO Configuration\SATA And RST Configuration

### ○ SATA Configuration

統合された SATA コントローラを有効または無効に切り替えます。

### ○ SATA Mode Selection

チップセットに統合された SATA コントローラ用の RAID の有効/無効を切り替えるか、SATA コントローラを AHCI モードに構成します。

- ▶▶ RAID SATA コントローラに対して RAID モードを有効にします。
- ▶▶ AHCI SATA コントローラを AHCI モードに構成します。Advanced Host Controller Interface (AHCI) は、ストレージドライバが NCQ (ネイティブ・コマンド・キューイング) およびホットプラグなどの高度なシリアル ATA 機能を有効にできるインターフェイス仕様です。

### ○ SATA Test Mode

SATA テスト・モードを有効または無効にします。

### ○ Aggressive LPM Support

Chipset SATA コントローラに対する省電力機能である ALPM (アグレッシブリンク電源管理) を有効または無効にします。

### ○ Force SATA Gen Speed

SATA スロットの動作モードを Gen 1、Gen 2、または Gen 3 に設定できます。

### ○ SATA DevSlp Speed

接続された SATA デバイスをスリープモードに移行させるかどうかを決定します。

### ○ SATA SGPIO Enable

SATA コントローラのシリアル GPIO を有効または無効にします。

### ○ SATA ポート

各 SATA ポートを有効または無効にします。

### ○ Hot plug

各 SATA ポートのホットプラグ機能を有効または無効にします。

### ○ External

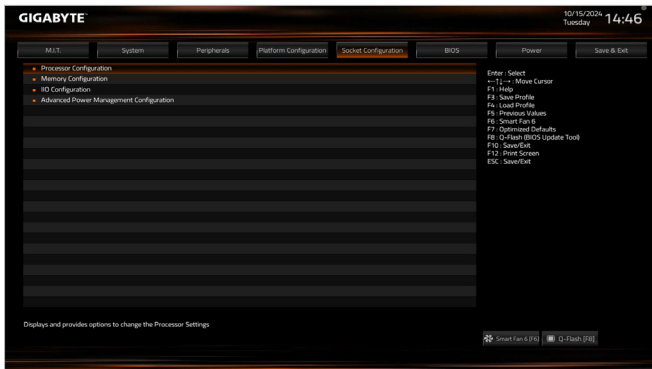
追加 SATA デバイスの有効/無効を切り替えます。

### ○ Spin Up Device

SATA デバイスの段階的のスピンアップ・サポートを有効または無効にします。

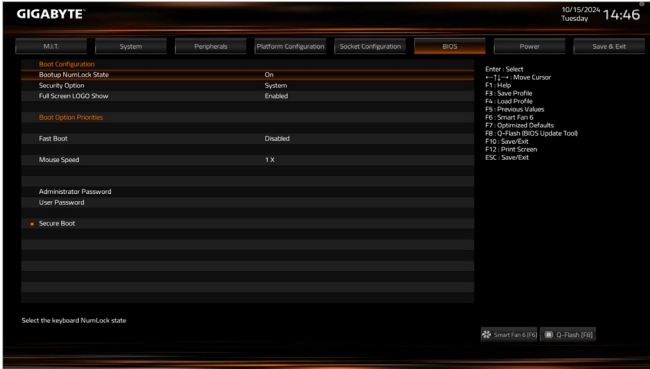
- ☞ **SATA Device Type**  
SATA ポートに接続するデバイスのタイプを選択することができます。
- ☞ **DITO Configuration**  
SATA ポートの DITO 設定を有効にするかどうかを決定できます。
- **PCH-IO Configuration\HD Audio Configuration**
- ☞ **HD Audio**  
オンボードオーディオ機能の有効/無効を切り替えます。オンボードオーディオを使用する代わりに、サードパーティ製拡張オーディオカードをインストールする場合、この項目を **Disabled** に設定します。
- ☞ **Audio DSP**  
オンボード・オーディオの DSP 機能を有効または無効にします。
- ▶ **HD Audio Advanced Configuration**  
この画面では、オンボード・オーディオ設定をさらに調整できます。
- ☞ **AC BACK**  
AC 電源損失から電源復帰した後のシステム状態を決定します。
  - ▶▶ Memory AC 電源が戻ると、システムは既知の最後の稼働状態に戻ります。
  - ▶▶ Always On AC 電源が戻るとシステムの電源はオンになります。
  - ▶▶ Always Off AC 電源が戻ってもシステムの電源はオフのままです。
- ☞ **IOAPIC 24-119 Entries**  
この機能の有効/無効を切り替えます。
- ☞ **SPD Write Disable**  
SPD 書き込みを無効にするかどうかを決定できます。
  - ▶▶ True SPD 書き込みが無効になります。
  - ▶▶ False SPD 書き込みが有効になります。
- ▶ **Thunderbolt(TM) Configuration**  
このサブメニューは、
- ☞ **PCIe Tunneling over USB4**  
PCIe Tunneling over USB4 を有効または無効にします。
- ☞ **Reserve PCIe Bus for TBT**  
この項目では、Thunderbolt™ ポート用に予約された PCIe バスの数を設定できます。
- ☞ **Memory For Tbt**  
このルートブリッジの予約メモリを設定できます。
- ☞ **PMemory For Tbt**  
プリフェッチ可能メモリのアライメントを設定します。

# Socket Configuration



- **Processor Configuration**  
この画面では、プロセッサ設定をさらに調整できます。
- **Memory Configuration**  
この画面では、メモリ設定をさらに調整できます。
- **I/O Configuration**  
この画面では、I/O 設定をさらに調整できます。
- **Advanced Power Management Configuration**  
この画面では、電源管理設定をさらに調整できます。

# BIOS



## Boot NumLock State

POST後にキーボードの数字キーパッドにあるNumLock機能の有効/無効を切り替えます。

## Security Option

パスワードがシステム起動ごとに必要か、または BIOS セットアップに入る時のみに必要かを指定します。このアイテムを設定した後、BIOS メインメニューの **Administrator Password/ User Password** アイテムの下でパスワードを設定します。

- ▶ Setup      パスワードはBIOSセットアッププログラムに入る際のみ要求されます。
- ▶ System      パスワードは、システムを起動したり BIOS セットアッププログラムに入る際に要求されます。

## Full Screen LOGO Show

システム起動時に、GIGABYTEロゴの表示設定をします。**Disabled**にすると、システム起動時にGIGABYTEロゴをスキップします。

## Boot Option Priorities

使用可能なデバイスから全体の起動順序を指定します。起動デバイス リストでは、GPT形式をサポートするリムーバブルストレージ デバイスの前に「UEFI」が付きます。GPTパーティションをサポートするオペレーティングシステムから起動するには、前に「UEFI」が付いたデバイスを選択します。

また、Windows 11 (64 ビット) など GPT パーティションをサポートするオペレーティングシステムをインストールする場合は、Windows 11 (64 ビット) インストールディスクを挿入し前に「UEFI」が付いた光学ドライブを選択します。

## Fast Boot

Fast Bootを有効または無効にして OS の起動処理を短縮します。**Ultra Fast** では起動速度が最速になります。

## SATA Support

- ▶ Last Boot SATA Devices Only      以前の起動ドライブを除いて、すべての SATA デバイスは、OS 起動プロセスが完了するまで無効になります。
- ▶ All SATA Devices      オペレーティングシステムおよびPOST中は、全 SATA デバイスは機能します。

**Fast Boot** が **Enabled** に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。

### ◁ NVMe Support

NVMe デバイスの高速ブート・サポートを有効または無効にすることができます。

**Fast Boot** が **Enabled** に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。

### ◁ UFS Support

UFS デバイスの高速ブート・サポートを有効または無効にすることができます。

**Fast Boot** が **Enabled** に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。

### ◁ USB Support

▶▶ Disable                    OS ブートプロセスが完了するまで、全 USB デバイスは無効になります。

▶▶ Full Initial                オペレーティングシステムおよび POST 中は、全 USB デバイスは機能します。

▶▶ Partial Initial            OS ブートプロセスが完了するまで、一部の USB デバイスは無効になります。

**Fast Boot** が **Enabled** に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。

### ◁ NetWork Stack Driver Support

▶▶ Disable Link              ネットワークからのブートを無効にします。

▶▶ Enabled                    ネットワークからのブートを有効にします。

**Fast Boot** が **Enabled** に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。

### ◁ Redirection Support

リダイレクト・サポートを有効または無効にすることができます。

**Fast Boot** が **Enabled** に設定されている場合のみ、この項目を構成できます。

### ◁ Mouse Speed

マウスカーソルの移動速度を設定します。

### ◁ Administrator Password

管理者パスワードの設定が可能になります。この項目で <Enter> を押し、パスワードをタイプし、続いて <Enter> を押します。パスワードを確認するよう求められます。再度パスワードをタイプして、<Enter> を押します。システム起動時および BIOS セットアップに入るときは、管理者パスワード (またはユーザー パスワード) を入力する必要があります。ユーザー パスワードと異なり、管理者パスワードではすべての BIOS 設定を変更することが可能です。

### ◁ User Password

ユーザー パスワードの設定が可能になります。この項目で <Enter> を押し、パスワードをタイプし、続いて <Enter> を押します。パスワードを確認するよう求められます。再度パスワードをタイプして、<Enter> を押します。システム起動時および BIOS セットアップに入るときは、管理者パスワード (またはユーザー パスワード) を入力する必要があります。しかし、ユーザー パスワードでは、変更できるのはすべてではなく特定の BIOS 設定のみです。

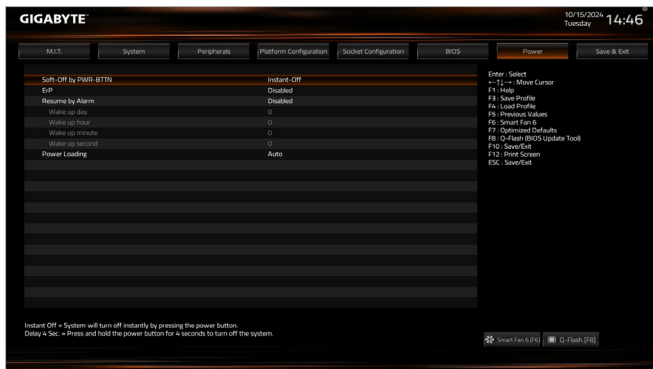
パスワードをキャンセルするには、パスワード項目で <Enter> を押します。パスワードを求められたら、まず正しいパスワードを入力します。新しいパスワードの入力を求められたら、パスワードに何も入力しないで <Enter> を押します。確認を求められたら、再度 <Enter> を押します。

注: ユーザーパスワードを設定する前に、最初に管理者パスワードを設定してください。

### ■ Secure Boot

セキュアブートを有効または無効設定することができます。

## Power (電力管理)



### ☞ Soft-Off by PWR-BTTON

電源ボタンで MS-DOS モードのコンピュータの電源をオフにする設定をします。

▶▶ Instant-Off 電源ボタンを押すと、システムの電源は即時にオフになります。

▶▶ Delay 4 Sec. パワーボタンを4秒間押し続けると、システムはオフになります。パワーボタンを押して4秒以内に放すと、システムはサスペンドモードに入ります。

### ☞ ErP

S5 (シャットダウン) 状態でシステムの消費電力を最小に設定します。

注: この項目が **Enabled** に設定されているとき、Resume by Alarm 機能は使用できなくなります。

### ☞ Resume by Alarm

任意の時間に、システムの電源をオンに設定します。

有効になっている場合、以下のように日時を設定してください:

▶▶ Wake up day: ある月の毎日または特定の日の特定の時間にシステムをオンにします。

▶▶ Wake up hour/minute/second: 自動的にシステムの電源がオンになる時間を設定します。自動的にシステムの電源がオンになる時間を設定します。

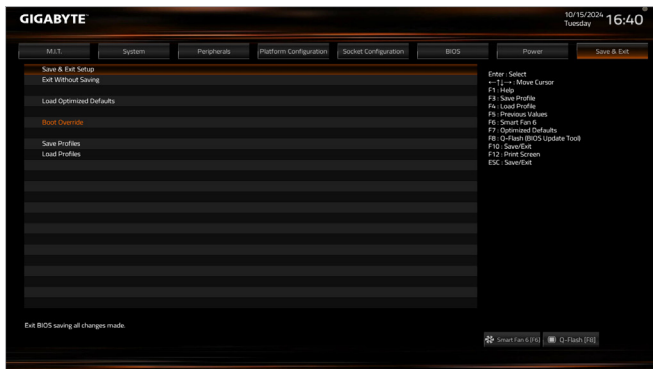
注: この機能を使う際は、オペレーティングシステムからの不適切なシャットダウンまたは AC 電源の取り外しはしないで下さい。そのような行為をした場合、設定が有効にならないことがあります。

### ☞ Power Loading

ダミーローディング機能の有効/無効を切り替えます。パワーサプライユニットのローディングが低いためにシステムのシャットダウンや起動に失敗する場合は、有効に設定してください。Auto では、BIOS がこの設定を自動的に設定します。



## Save & Exit (保存して終了)



- ☞ **Save & Exit Setup**  
この項目で <Enter> を押し、**Yes** を選択します。これにより、CMOS の変更が保存され、BIOS セットアッププログラムを終了します。**No** を選択するかまたは <Esc> を押し、BIOS セットアップのメインメニューに戻ります。
- ☞ **Exit Without Saving**  
この項目で <Enter> を押し、**Yes** を選択します。これにより、CMOS に対して行われた BIOS セットアップへの変更を保存せずに、BIOS セットアップを終了します。**No** を選択するかまたは <Esc> を押し、BIOS セットアップのメインメニューに戻ります。
- ☞ **Load Optimized Defaults**  
この項目で <Enter> を押し、**Yes** を選択して BIOS の最適な初期設定を読み込みます。BIOS の初期設定は、システムが最適な状態で稼働する手助けをします。BIOS のアップデート後または CMOS 値の消去後には必ず最適な初期設定を読み込みます。
- ☞ **Boot Override**  
直ちに起動するデバイスを選択できます。選択したデバイスで <Enter> を押し、**Yes** を選択して確認します。システムは自動で再起動してそのデバイスから起動します。
- ☞ **Save Profiles**  
この機能により、現在の BIOS 設定をプロファイルに保存できるようになります。最大 8 つのプロファイルを作成し、セットアッププロファイル 1 ~ セットアッププロファイル 8 として保存することができます。<Enter> を押し、または **Select File in HDD/FDD/USB** を選択してプロファイルをストレージデバイスに保存します。
- ☞ **Load Profiles**  
システムが不安定になり、BIOS の既定値設定をロードした場合、この機能を使用して前に作成されたプロファイルから BIOS 設定をロードすると、BIOS 設定をわざわざ設定しなおす煩わしさを選けることができます。まず読み込むプロファイルを選択し、<Enter> を押し、完了します。**Select File in HDD/FDD/USB** を選択すると、お使いのストレージデバイスから以前作成したプロファイルを入力したり、正常動作していた最後の BIOS 設定 (最後の既知の良好レコード) に戻すなど、BIOS が自動的に作成したプロファイルを読み込むことができます。